

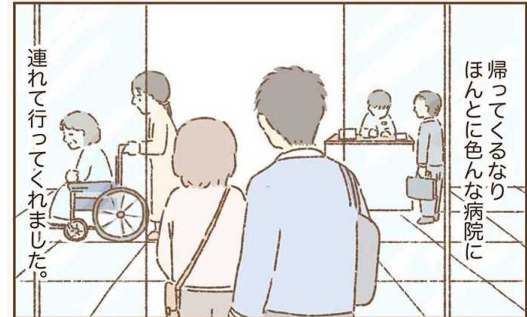
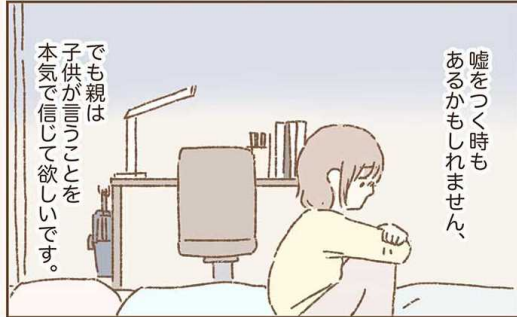
# 子供たちを守りたい！

先日、LINEニュースを見ていたら、次のような漫画が掲載されていました。作者は「西山ともこ」さん。書籍を出版されたり、SNSを活用して発信したりしている方です。

思春期まっただ中の子供と心から娘を信じる父親との心温まるお話です。お父さんの「生きてくれるだけでいいから。行きたくないなら学校にも行かなくていい。」の言葉に涙します。

### 【大好きなお父さん】





今の子供たちは、ICTの進歩により様々な情報を手に入れられるとともに、情報は一瞬で駆け巡り、あっという間に拡散してしまう、そんな気の抜けない時代に生きています。思春期の子供たちは、我々には想像できないほど神経を使い、人間関係に気がつかっているのかもしれません。

悲しいことに、今年も芸能人の相次ぐ自殺のニュースが日本列島を驚愕させました。マスメディアに登場し、多くの人から人気を得ている人が、自らの命に終止符を打つという出来事は、少なからず子供たちに影響を及ぼしているに違いありません。たった一つの命は何物にも代えることができない尊いものです。子供たちが自他の命を大切に、大切に扱って欲しいと願わずにはいられません。

厚生労働省の調査で、日本では10歳～39歳までの死因1位は「自殺」だそうです。国際的にも15～34歳の死因1位が自殺なのは、主要7カ国(G7)の中で日本だけです。「自殺対策白書」によると、若年層の自殺を巡る状況について、2018年までの10年分を分析したところ、10代では学業不振や進路の悩みなど学校問題の割合が最も高いという結果だったそうです。

大間々中学校では、子供の気持ちに寄り添い、悩みを共感し解決への道りを生徒とともに歩む教育相談体制をさらに充実させていきたいと考えております。家庭と学校とが連絡を取り合いながら、子供の健やかな成長を支援していきたいと思っております。今後も子供の少しの変化や悩みなど、何でも構いません。ご心配なことがありましたら遠慮なく連絡をお願いいたします。

本「大中タイムス」に掲載しました漫画は、作者「西山ともこ」さんの著作権管理を委託されているAMAIRO合同会社より承諾を得ております。